

## [030\_05/06] 経済学研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4403418>

---

出版情報：経済学研究. 30 (5/6), 1965-02-25. 九州大学経済学会  
バージョン：  
権利関係：



## 序

高橋先生の還暦記念号がようやくできあがった。われわれの会がこれまでに出したこの種の記念号はこれが四回目である。還暦記念号と銘は打つても事実上は毎回とも退官記念号であった。今回もそうである。ここにしるす言葉も自然そんな気持ちに支配される。

昭和三年先生が九州大学に赴任してこられてから実に三十七年を数える。その間、一時、思想問題で退かれたこともあったが、三十三年七ヶ月におよぶ在職期間中、われわれの学会や学部は先生にはずいぶんお世話になったものである。

先生が学界や思想界につくされた貢献について語る必要があるまい。日頃近くにあつて感じさせられたことは、その人柄や生活態度である。思うに、先生のように人間の平等性に徹してそのなかで生き抜いてきた人は少ないであろう。先生ほど学問のいわば庶民化に努力した人はまれであろう。学問と思想の世界に今なお残っている権威主義にたいして敢然と挑戦されてきた。挑戦という言葉は、あるいは、適切でないかもしれない。案外、事実を事実とし、真実を真実として率直に述べられたまでのことであるかもしれない。先生はそんな人のようである。そしてこれらのことはすべて先生の精神と肉体のあの驚嘆すべき強じんさと柔軟さとに深く結びついているように思われる。

本号には論文九篇を収めることができた。執筆の希望が多くて予定以上の篇数となったが、それでも収めきれず、次号へ割愛を余儀なくされたものもある。

最後に、先生の変りないご健康とご活躍を心からお祈りする次第である。

昭和四十年三月

九州大学経済学会長

副 田 満 輝